

主日礼拝

2026 年 10 月 11 日
午前 10 時 30 分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「しかし、主に逆らい敵対する者は必ず滅びる
 献げ物の小羊が焼き尽くされて煙となるように。
 主に逆らう者は、借りたものも返さない。
 主に従う人は憐れんで施す。」

(詩編 37:20,21)

頌栄 26「グロリア」



リタニー「祈りあるかぎり」

司式者：「光の子らしく歩きなさい」
 会衆：神さま ありがとうございます
 司式者：少しも光の子らしくないのに
 会衆：あなたはそう呼んでくださる
 司式者：それで元気をとりもどします
 会衆：わたしたちを暗くするもの
 司式者：重く沈み込ませるもの
 会衆：うなだれしおれさせるもの
 司式者：つぶやき嘆かせるもの
 会衆：憎んだりやきもちやかせるもの
 司式者：そういうものを追い払って
 会衆：あなたは新しい歩みをくださる
 司式者：新しい心に新しい祈りをくださる
 会衆：ありがとうございます
 司式者：この祈りあるかぎり
 会衆：わたしたちはだいじょうぶ
 司式者：この祈りを杖とし道づれとして
 会衆：いただいた自分の人生を
 司式者：一步一步しっかり進んで行きます
 みんな：あなたがそうさせてくださるから

This is the day the Lord hath made
 詞：Isaac Watts, 1674-1748LONDON NEW
 スコットランド詩編歌、17世紀

- 1 今日こそ主の日なり。招きうけて よろこび樂しめ、たたえよ、主を。
 2 今日こそ勝利の日。主は死に勝ち 聖徒らはうたう 神のみわざ。
 3 油そそがれし み子にホサナ、 主のみ名によりて 来たる方に。
 4 恵みのおとずれ もたらす主よ、 われらの罪とが 赦したまえ。
 5 地にある教会 歌え、ホサナ。 今日こそ主の日なり、み名をほめよ。

祈祷

献金 神学校日献金として

主の祈り

天にまします我らの父よ、
 ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
 み国を来らせたまえ。
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ。
 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
 我らの罪をもゆるしたまえ。
 我らをこころみにあわせず、
 悪より救い出したまえ。
 国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
 なればなり。
 アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」



キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

聖書 使徒言行録 5:27～42

新約(新共同訳)P222～223

27 彼らが使徒たちを引いて来て最高法院の中に立たせると、大祭司が尋問した。28「あの名によって教えてはならないと、厳しく命じておいたではないか。それなのに、お前たちはエルサレム中に自分の教えを広め、あの男の血を流した責任を我々に負わせようとしている。」29 ペトロとほかの使徒たちは答えた。「人間に従うよりも、神に従わなくてはなりません。30 わたしたちの先祖の神は、あなたがたが木につけて殺したイエスを復活させられました。31 神はイスラエルを悔い改めさせ、その罪を赦すために、この方を導き手とし、救い主として、御自分の右に上げられました。32 わたしたちはこの事実の証人であり、また、神が御自分に従う人々にお与えになった聖霊も、このことを証ししておられます。」33 これを聞いた者たちは激しく怒り、使徒たちを殺そうと考えた。34 ところが、民衆全体から尊敬されている律法の教師で、ファリサイ派に属するガマリエルという人が、議場に立って、使徒たちをしばらく外に出すように命じ、35 それから、議員たちにこう言った。「イスラエルの人たち、あの者たちの取り扱いは慎重にしないで。36 以前にもテウダが、自分を何か偉い者のように言って立ち上がり、その数四百人くらいの男が彼に従ったことがあった。彼は殺され、従っていた者は皆散らされて、跡形もなくなった。37 その後、住民登録の時、ガリラヤのユダが立ち上がり、民衆を率いて反乱を起こしたが、彼も滅び、つき従った者も皆、ちりぢりにさせられた。38 そこで今、申し上げたい。あの者たちから手を引きなさい。ほうっておくがよい。あの計画や行動が人間から出たものなら、自滅するだろうし、39 神から出たものであれば、彼らを滅ぼすことはできない。もしかしたら、諸君は神に逆らう者となるかもしれないのだ。」一同はこの意見に従い、40 使徒たちを呼び入れて鞭で打ち、イエスの名によって話してはならないと命じ41 それで使徒たちは、イエスの名のために辱めを受けるほどの者にされたことを喜び、最高法院から出て行き、42 毎日、神殿の境内や家々で絶えず教え、メシア・イエスについて福音を告げ知らせていた。

賛美 530「主よ、こころみ」

In the hour of trial
詞：James Montgomery, 1771—1854

PENITENCE
曲：Spencer Lane, 1843—1903



- | | |
|---|--|
| 1 主よ、こころみ うくるおり、
いのりたまえ わがために。
こころおそれ 迷うときも、
あいのみかお 向けたまえ。 | 3 わずらわしき 世のわざに、
やるせもなき かなしみに、
なおひそめる いつくしみを
見させたまえ あやまたず。 |
| 2 世のたからは 目をうばい、
世のほまれが さそうとき、
十字架の主の みくるしみを
しめたまえ わがむねに。 | 4 塵より成る このわが身、
塵にかえる そのときも、
主よ、御顔を あおぎ見つ
ゆかせたまえ みもとへと。 |

説教「神から出たものか、人から出たものか」

賛美 418「キリストのしもべたちよ」

Dhaaseree yith tharenaiy anbaai
詞：V. Santiago, ?

DHAASEREE
曲：V. Santiago, ?



- | | |
|---|--|
| 1 キリストのしもべたちよ、主のみむねに従って、
日ごとに証を立て、隣人と共に生きる国をつくれ。
キリストのしもべたちよ、主のみこころ、忘れるな。 | 2 重荷にうちひしがれた人に主は近づかれて、
悲しむ人の悩み 身に負われた 主のあわれみ、そのみ言葉。
キリストのしもべたちよ、主のみこころ、忘れるな。 |
|---|--|

3 血を流す争いあり。語る者のおごりあり。

平和と正義の主は 立ち上って、世の不正を砕きたもう。

キリストのしもべたちよ、主のみこころ、忘れるな。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



後奏

司式：塩冶 みはる
説教：向井 希夫牧師
奏楽：高橋 孝子